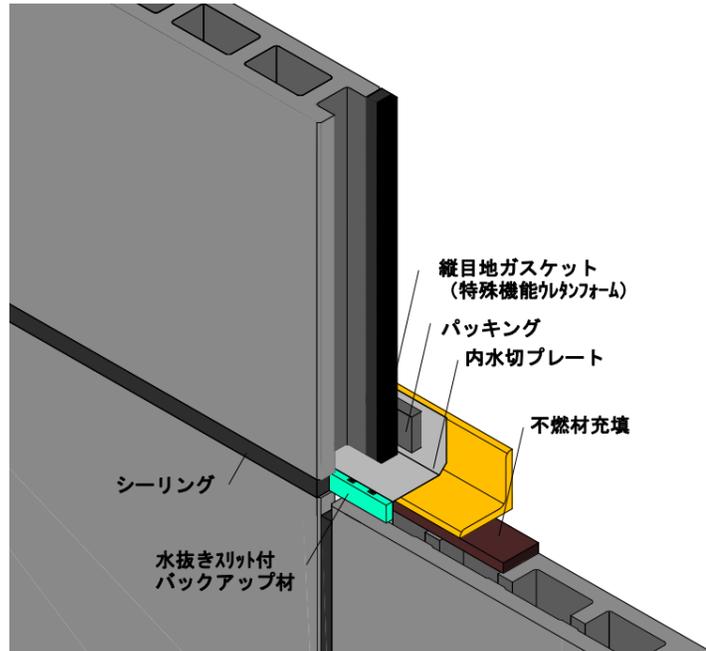


【注意事項】

- 1. 対応品種**
当工法の対応品種は、60mm厚品が標準です。
○60mm厚フラット品
○60mm厚デザイン品
○60mm厚タイルロック
- 2. 副資材**
当工法に使用する副資材は、全て専用品です。ご注文は、弊社支店・営業所までお願いします。
下部水切は、内水切を入れて外水切（別途工事）と連結するタイプと、一体型の外水切りをご用意しています。



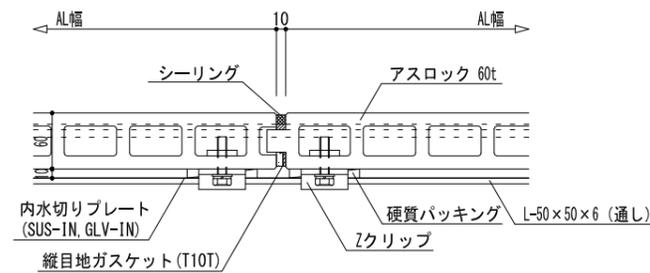
【概要】

ニューセフティ工法は、表面シーリング材の劣化等により欠損が生じた場合に、シーリング材のメンテナンス時期までの間、雨水を内部に侵入させない2次防水工法です。縦張工法のアスロック縦目地部にガスケット（自己スキン層付疎水性特殊ウレタンフォーム+水膨張性ウレタンフォーム張合せ）〔特許申請済み〕を張付けし、横目地内部には金属製内水切りプレートを設置した工法です。表面シーリング材の欠損部から侵入した雨水を、アスロック中空部を利用して下部に排出します。

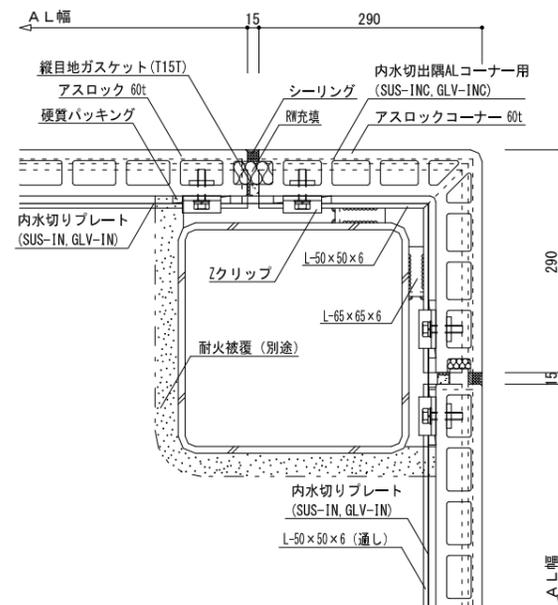
【特長】

- ①高水密性能：**
水密性試験により表面シーリング材劣化時においても、最大圧力 3000Pa まで漏水がないことが確認されています。
- ②水密持続性向上：**
ガスケットの長期圧縮残留ひずみが小さく、長期間止水性を保持します。
- ③コストメリット：**
ウレタン系シール材は定型ガスケット材（EPDMやシリコンガスケット）に比べ、コストパフォーマンスに優れます。また、ガルバリウム製の内水切り材の設定により、副資材全体のコストを削減できます。

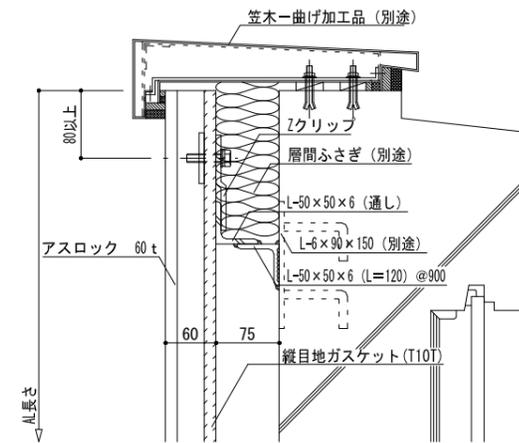
一般部 水平断面



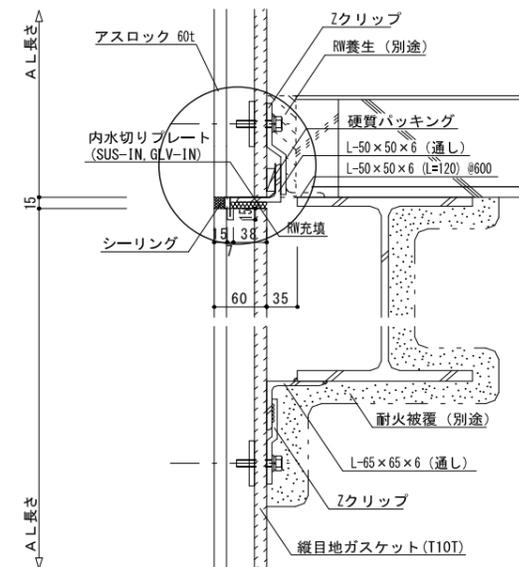
出隅コーナー部断面



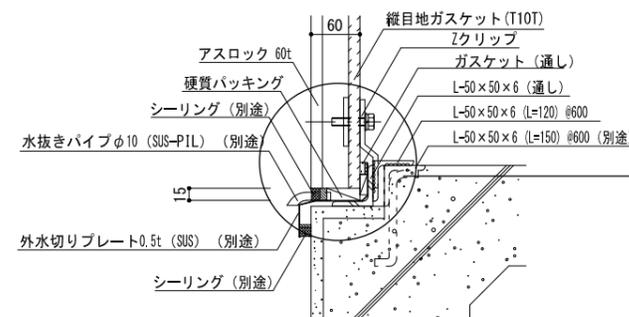
上部 垂直断面



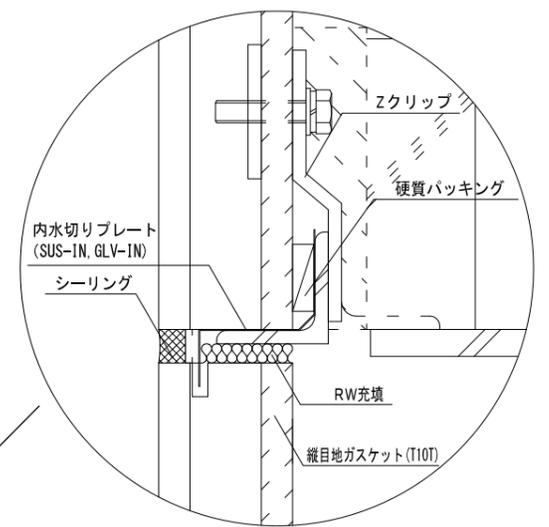
一般部 垂直断面



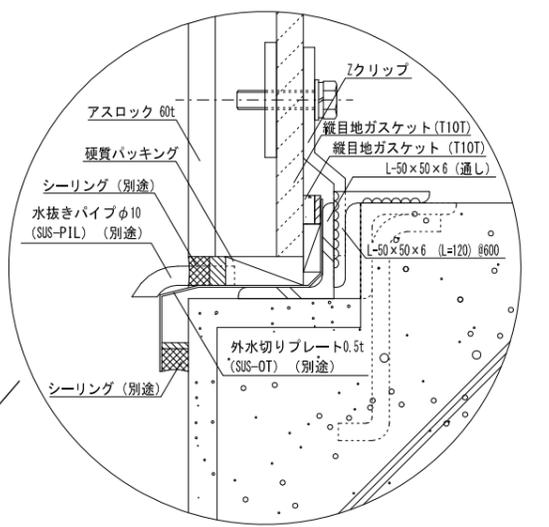
下部 垂直断面



一般部 拡大図



下部 垂拡大図



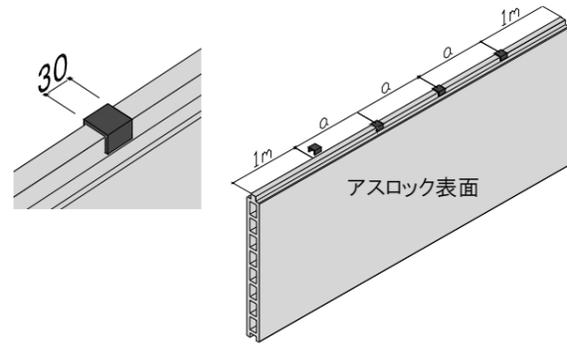
※ガスケット・水切り材構成

ガスケット種類	材質
縦目地ガスケット	自己スキン層付疎水性特殊ウレタンフォーム+水膨張性ウレタンフォーム張合せ
横目地内水切り	ステンレス製 板厚 0.4mm ガルバリウム鋼板製 板厚 0.4mm

施工の概要と注意事項 [縦張工法]

Vパッキングの張り付け

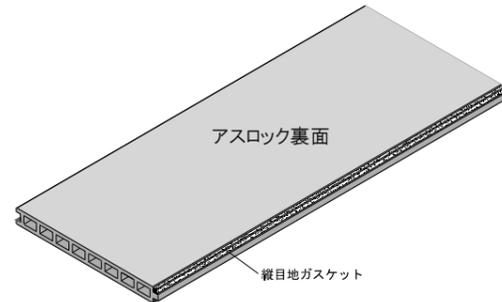
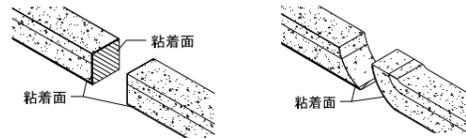
アスロック凸部頂点に、Vパッキングを張付けます。張付け位置は、アスロック両端部から1m程度の所とし、アスロックが4mを超える場合は、さらに中央に2ヶ所追加します。アスロック長さ中央部への張付けは避けて下さい。



縦目地ガスケット張付け

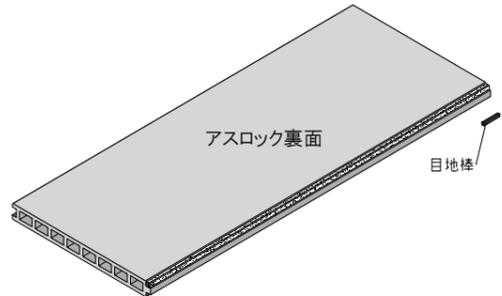
縦目地ガスケットは、凸部のアスロック裏側に貼り付けます。

接合部は端部接着又は斜めに切断し、重ね合せます。



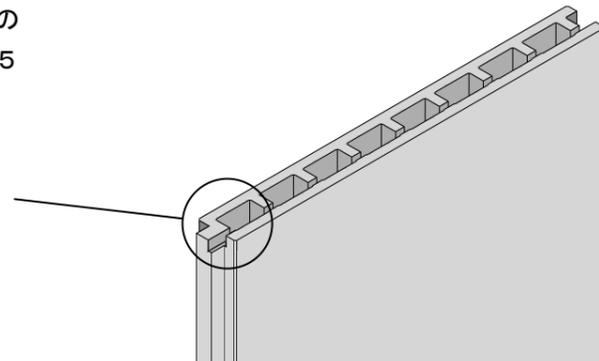
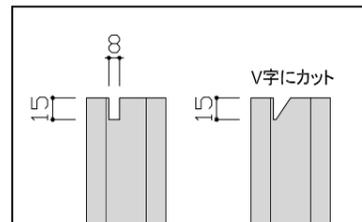
目地棒の取付け

目地棒は、10×8×30~50mmの物を使用します。アスロック凸部表面側に張付けます。張付け位置は、アスロックの両端部2ヶ所とします。



内水切用の溝加工

アスロック建て込み後上部になる小口に、内水切用の溝加工を行います。大きさは、幅8mm以上、深さ15mm以上とし、四角型、V型のいずれでも可とします。



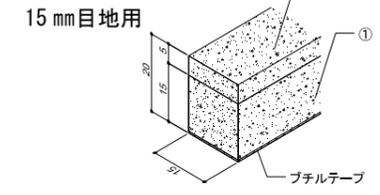
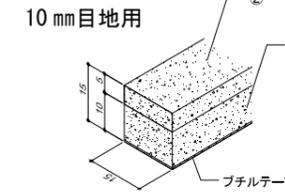
シーリング材打設・水抜きパイプの設置

アスロック標準工事に従い、現場毎に指定されたシーリング材を打設します。

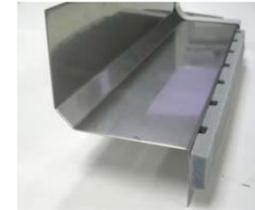
水抜きパイプは原則として縦目地最下部に設置し、間隔は1.8~5mの範囲に1箇所とします。サッシ上部分については、請負工事業者と協議の上、設置の有無を決定します。

副資材

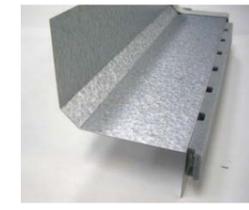
縦目地ガスケット (①自己スキン層付疎水性特殊ウレタンフォーム+②水膨張性ウレタンフォーム張合せ)



内水切りプレート (溝有りバックアップ材付)



ステンレスタイプ
(SUS304 板厚0.4)



ガルバリウム鋼板タイプ
(JIS G 3321 溶融 55%アルミニウム
一亜鉛めっき鋼板) (板厚0.4mm)

水抜きパイプ

(SUS 304, 外径 10 mm)
逆流防止機能付き



(L=40)

(SUS 304, 外径 10 mm)
逆流防止機能付き



R (L=30)

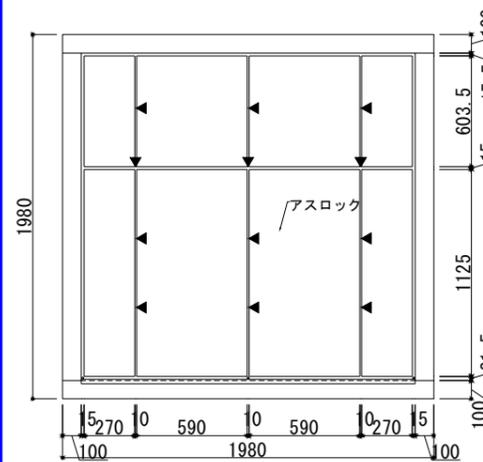
※外水切り材および窓上水切り材はセフティシール工法共通部材となりますので、詳細につきましてはセフティシール工法カタログを参照下さい。

試験結果 (水密性能試験)

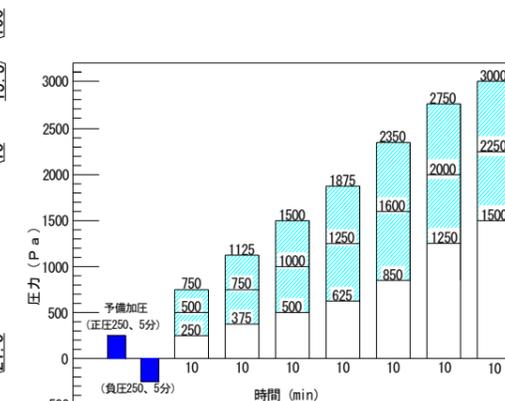
試験体 アスロック横張工法

試験方法 試験は JIS A 1414 「水密試験」 に準じて行った。シーリングの劣化を想定してシーリング部に欠損プレートを挿入し (シーリングは打設長さの5%、欠損幅0.5mm)、試験体に4ℓ/min・㎡の水を噴霧しながら室内側への漏水状況を観察した。

試験機関 (財) 建材試験センター 中央試験所



▼ 欠損プレート挿入位置
試験体正面図



水密試験加圧プロセス

※平均圧力 2250Pa (上限圧力 3000Pa) まで十分な水密性能を有しています。

平均圧力 (Pa)	漏水状況	
	縦目地部	横目地部
500	漏水なし	漏水なし
750	漏水なし	漏水なし
1000	漏水なし	漏水なし
1250	漏水なし	漏水なし
1600	漏水なし	漏水なし
2000	漏水なし	漏水なし
2250	漏水なし	漏水なし